

## (5) 家畜を飼う仕事

熱塩加納村は昔から、農業や生活に利用するために、馬や牛、<sup>にわとり</sup>鶏、<sup>ぶた</sup>豚、<sup>やぎ</sup>山羊などを飼育していました。馬や牛は、田をおこしたり、しろかきのために、また、鶏は卵<sup>たまご</sup>を利用するため、山羊は乳<sup>ちち</sup>をしぶるなど生活に必要なものでした。これらの家畜のふんは、田や畠に肥料として利用していました。

現在では、農業用の機械<sup>きかい</sup>がそろい、肥料も化学的に作られるようになり、それにつれて家畜の数もかなりへってきました。また、家畜を生活に利用するのではなく、収入を得るために飼育している人もいます。

### ①牛

繁殖牛と肥育牛の2種類<sup>しゅるい</sup>があります。もともとは同じ種類の黒い牛ですが、繁殖牛は子牛を生ませて、その子牛を10か月くらい育てて家畜市場に出します。肥育牛は、子牛を大きく育てて家畜市場に出します。

### ② 鶏

昔は自分の家で卵や肉を食べるためにはっていましたが、現在は卵を出荷している人もいます。

### ③豚

昔から子豚を生ませて10か月くらい育てて売る方法をとっています。

### 家畜を飼っている農家と家畜の数

(平成9年1月役場調べ)

家畜名	農家戸数	家畜数	家畜名	農家戸数	家畜数
繁殖牛	19	37頭	豚	1	165頭
肥育牛	7	59頭	鶏	40	589頭